

# あごひびげの松沼茂さん 「野球も、駅伝もがんばってほしいな」

”中大カレンダー“なるものがあるらしい。

折々の絵の中に、「C」のタスキを巻いた駅伝選手がいたりするのである。カレンダーづくりの主は……あごひびげがトレードマークの中大OB、松沼茂さん(64)だった。

学生記者 山崎綾香(法学部2年)

## ■江戸モダンの店

文京区本郷の菊坂下、樋口一葉ゆかりの伊勢屋質店の近隣にあるのは、和紙工芸品と民芸品の店、「松しん」。アンティークな店構えの創業者オーナーが、松沼茂さん。昭和42年中央大学経済学部卒業、42年白門会の会長もつとめる。

情緒漂う店の中に入ると、和紙を使った「千社札」というお札やカルタ、おもちゃなど、暖かい、趣深い商品がにぎやかに並んでいる。おや、コイやフナも……大きな水槽をゆっ

たり泳いでいる。大きいのは85センチもあるとか。

「魚取りが趣味なんです。実家の茨城で獲ったもので、増えたら利根川に返してあげようかと考えています」

さながら江戸モダンの自由な空間から、「中大カレンダー」の発想も生まれたようだ。このカレンダー、正しくは「江戸歳時記暦」という。タテ62センチ、ヨコ11センチ。和紙の手触り感と色合いも優しい暦には、季節折々の絵が描かれている。コマ遊び、凧揚げ……伝統的な遊びをは

じめ、随所に隠し技や趣向が凝らされていて楽しい。「松しん」の心温まるカンバン商品だ。毎年約600部を製作販売し、来年で32号にもなるという。

江戸歳時記暦の「中央大学バージョン」をつくり始めたのは、松沼さんが42年白門会の支部長になった8年前、だそうだ。「他のお客さまには言わないで、母校がらみのイラストを取り込んでしまおうと思いついてね」と、静かにはにかむ。愛校心の賜物ですね? と質問すると、「ええ、そうですね」とあごひびげブルルとほほ笑んだ。

## ■「江戸歳時記暦中大版」

第1号から評判だったそうだ。

「大学関係の知人から、「私にもくれ」という声を多くいただきました。いっそのこと、母校に贈呈しよう」と。

毎年600部ほどを、中大関係者に提供している。阿部三郎・前理事長も松沼さんの作品のファンで、「松

しん」にも足を運ぶ間柄。一緒に撮った写真や色紙も飾ってあった。

江戸歳時記暦を1枚めくると、ナルホドな、と評判の理由が分かる。

睦月(1月)には、駅伝で優勝する母校・中大選手のイラストだ。さらに、出島、玉春日をはじめ中大出身力士を思わせる相撲のイラスト。また葉月(8月)には、水泳選手が「中大水泳部」を連想させる。

その一つひとつに、松沼さんの中大スポーツへの熱い思い入れが感じられる。

野球にはことさら熱い。旧西鉄ライオンズの初代応援団長だったのだそうだ。「読売ジャイアンツの阿部慎之助のことは、彼が大学1年の頃から応援していましたよ」

駅伝といえば、松沼さんは「中大大学箱根駅伝を強くする会」の役員もつとめている。

昨年、水泳部のインカレ12連覇は惜しくも成らず、硬式野球部は東都2部降格、駅伝もまた今年総合8位



「中大カレンダー」を手にする松沼茂さん＝文京区の「松しん」店内で

現在の歳時

りする機会が多かった。それに、「たまたま地元の間屋で3年ほどアルバイトをしました。そこで独立してみようという気が起きたんですよ。」

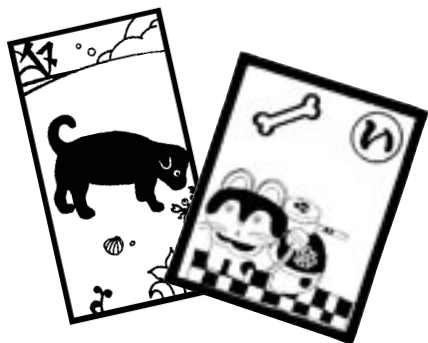
そして、

学生時代といえば、と持ちかけたら、「申し訳ないのですが……」と手で制して、「私は『ワングェル部』っていう学部を卒業したようなもので、勉強のほうは……」。思わずお互いに笑ってしまった。

「ワングェル」——ドイツ語では

「渡り鳥」を意味する。「渡り鳥」は、松沼さんを豊かで華麗な色彩の江戸・伝統の世界へ誘ったようだ。

店内に並べられたきれいな小物たちを眺めていたら、「これはあなたにさしあげましょう」と、和紙で作られた「江戸いろはカルタ」をいただいた。「犬も歩けば棒にあたる」



……ちょっと意外な不振ぶりに、「さびしいですね」とOBの本音が漏れる。とはいえ、男子五十M背泳ぎで山口雅文（経・3年）が暫定日本新を出すなど水泳部は反転V攻勢の機運。スポーツだけではなく、この秋のロースクール修了者の新司法試験の結果は「合格者全国トップ」の見事さだった

「母校には文武両道を引き続き書いてもらわないとね。期待しております」。古豪復活を信じて、松沼さんは声援を送り、歳時記曆を手掛けるのだ。そもそも松沼さんが和紙に興味を持ったのは学生時代。ワングェル部に籍を置き、「各地遍歴」で、地元の民芸品をお土産に買ったたり、眺めた

記曆は、ある職人さんの協力を得て出来上がったのだという。「私は職人さんの技を自分の店の商品に生かす、職人さんと共に歩ませていただいているプロデューサーなんです」

……飛び切りかわいい絵と肉太の江戸文字。一枚一枚見ているだけで、面白くて、飽きない。使えないわ、もったいなくて……。『中大カレンダー』平成19年版は、先月中にもう仕上がりが済みだそうである。

## ■ワングェル部卒業？

謙虚な口調で語る。



「松しん」（〒113-0033 東京都文京区本郷5-33-6）への問い合わせは、Tel 03-3814-7059 Fax 03-3814-0583。